

『心に残る文化財こども塾』学習指導案

日時 令和6年 7月8日(月)  
10:55~11:35  
場所 伊野小学校体育館  
対象者 伊野小6年生9名  
指導者 講師2名 松山智弘 鈴木七奈  
担任 高木 智子

1. 主題 奈良時代と奈良の大仏

2. ねらい

・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、その巨大さとともに込められた先人の思いについて知る。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
①講師紹介、本時の流れの確認。	・(担任)講師紹介をする。 ・見通しが持てるよう、本時の流れを示しておく。
②奈良の大仏について知るとともに、大仏パネルの説明を聞く。	・(講師)資料をもとに、大仏についての説明をし、パネルの組み立て方を伝える。
③組み立てる。大仏の巨大さを、体験を通して感じる。	・組み立て時はくつを脱ぐよう指示する。 ・協力して作業するよう伝える。 ・完成後にギャラリーから確認できるようにする。
④大仏が作られた時代の土器について知り、実物を観察する。	・奈良時代の土器を見せることで、奈良時代についての理解を深める。
⑤写真撮影、学習の振り返りをする。	(担任)写真撮影 児童に振り返りを発表させる。
⑥片付け、お礼の言葉。	

4. 準備物

小学校：長机3台(土器を並べる) カメラ(記念撮影) 児童：探検バック 筆箱  
講師：大仏パネル、アンケートなど

5. その他

講師の方は、10時ごろ来校されます。

2時間目と中休みは、体育館の使用不可でお願いします。